

日頃の準備

逸走の防止と所有者明示

- ☐ 首輪や鎖などの点検
- ☐ 鑑札^{*}、狂犬病予防注射済票^{*}の装着
- ☐ 迷子札、マイクロチップの装着

^{*}犬は装着が義務付け
お住まいの市町村によっては、マイクロチップが
鑑札とみなされる場合があります。



健康管理としつけ

- ☐ 予防接種やノミ・ダニなど外部寄生虫の駆除
- ☐ キャリーバッグ、ケージに慣らす
- ☐ 決められた場所での排泄
- ☐ 人や他の動物に慣らす
- ☐ 「待て」「お座り」などのしつけ



ペットの避難用品の準備

優先順位① ペットの命や健康に係るもの

- ☐ 療法食、薬(7日分以上)
- ☐ フード、水(7日分以上)
- ☐ 予備の首輪、リード(伸びないもの)
- ☐ キャリーバッグ、ケージ

優先順位② ペットの情報を記録したもの

- ☐ ワクチン接種状況、既往歴、健康状態、
かかりつけの動物病院
- ☐ ペットの写真

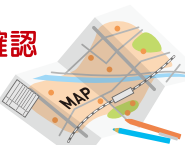
優先順位③ その他のペット用品

- ☐ ペットシート、トイレ用品、
タオル、ブラシ、おもちゃ など



同行避難所、避難経路の確認

- ☐ 避難所までの安全な避難経路の把握
- ☐ ハザードマップなどで危険な場所の把握
- ☐ 同行避難受け入れ条件などの確認
- ☐ ペット同行避難訓練への参加
- ☐ いざというときの一時預け先の確保
(親族、友人)



災害発生時の対応

ペットとの同行避難

- ☐ 犬:リード装着(首輪の緩み確認)
- ☐ 猫・小型犬:キャリーバッグなどで運搬

避難所における飼養管理

- ☐ 飼い主自身による飼育管理
- ☐ 咬傷事故などに注意
- ☐ 周りの人へ十分配慮する

ペットに関する災害時の対応についてより詳しく解説した
「福岡県災害時ペット救護マニュアル」はこちら→



ペットの災害対策

～飼い主として備えておくこと～



災害は突然起こります。

飼い主とペットがともに無事に災害を乗り越えるためには、
日ごろからの備えが欠かせません。

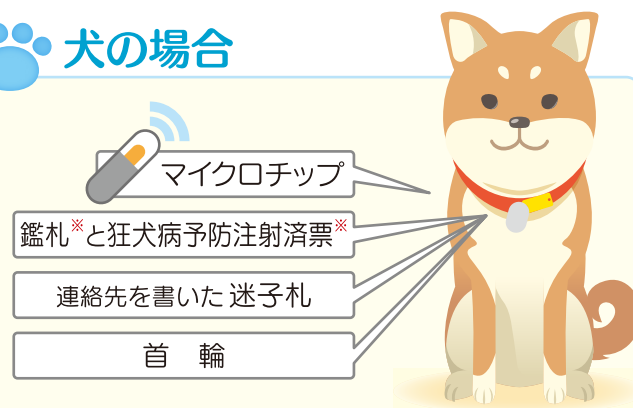
近年の災害を参考に、災害に備えて飼い主がどのような
対策をとればよいのか考えておきましょう。

日頃からの災害への備え スムーズな同行避難のために備えておくこと

逸走の防止と所有者明示

- 災害発生時には、ペットもパニックになって逃げだすことがあるため、首輪や鎖などの点検をしておきましょう。
- ペットが迷子になった場合に備えて、首輪などに**鑑札**※や**狂犬病予防注射済票**※、連絡先を書いた**迷子札**を装着しましょう。**マイクロチップ**の装着は、損傷や脱落などがなく、飼い主を確実に特定できるとても有効な方法です。

犬の場合



※犬は狂犬病予防法により装着が義務付けられています。
お住まいの市町村によっては、マイクロチップが鑑札とみなされる場合があります。

猫の場合



健康管理としつけ

- 災害はペットにも大きなストレスとなり、避難所で生活することになれば、さらにストレスが増してペットが体調を崩すことがあるため、日頃から**健康状態に注意**しましょう。
- **しつけをしておく**と、ペットのストレス軽減だけでなく、避難所での生活で他の人への迷惑防止につながります。
- 望まない繁殖を防止するため、**不妊去勢手術を実施**しておきましょう。不妊去勢手術により、性的ストレスの軽減、感染症の防止、無駄吠えなどの問題行動の抑制効果もあります。

犬の場合

- * キャリーバッグ、ケージに慣らす
- * むやみに吠えないようにしておく
- * 人や他の動物に慣らす
- * 決められた場所での排泄に慣らす
- * 「待て」「お座り」などの基本的なしつけ
- * 狂犬病予防接種(義務)、各種ワクチン接種
- * ノミ・ダニなど外部寄生虫の駆除
- * 不妊去勢手術の実施



猫の場合

- * キャリーバッグ、ケージに慣らす
- * 人に慣らす
- * 決められた場所での排泄に慣らす
- * 各種ワクチン接種
- * ノミ・ダニなど外部寄生虫の駆除
- * 不妊去勢手術の実施
- * 室内飼養の徹底
(放し飼いは災害時に行方不明のリスクが高い)

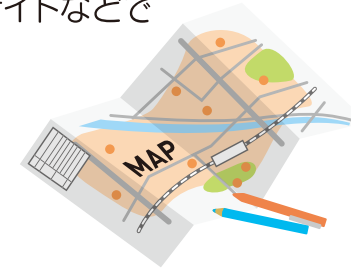


ペット用の避難用品や備蓄品の準備

- 避難所では人に対する準備はされているが、**ペットに対する備えは基本的に飼い主の責任**であり、支援物資が届くまでには時間がかかるため、日頃から必要な物資の備蓄をしておきましょう。**(備蓄品リストは最後のページに掲載)**

同行避難所、避難経路の確認

- 避難する場合に備え、ペット同行避難訓練への参加、ハザードマップや市町村の地域防災計画、災害時の避難地やペットを同行できる避難所の所在地などをウェブサイトなどで確認し、**避難所までの安全な避難ルート**を把握しておきましょう。
- 避難地や避難所に**ペットを連れていく際の注意事項**について、あらかじめ市町村に確認しておきましょう。
- 避難所での飼養の他にも、親族や飼い主同士のネットワーク、友人など、**複数の一時預け先を確保**しておきましょう。

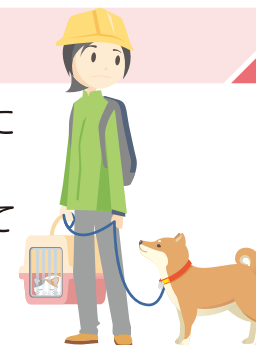


❗ **こんなケースも…** ワクチンを接種していない、吠えるなどの理由で**避難所への受け入れを拒否**されることがあります。受け入れ体制、条件については必ず事前に確認を！

災害発生時の対応 慌てず、落ち着いて、ペットと同行避難

ペットとの同行避難

- できる限り飼育しているペットと同行避難し、自宅に置き去りにしないようにしましょう。
- 大型の動物など、避難所への同行が困難である場合は、あらかじめ確保している一時預け先に預けましょう。



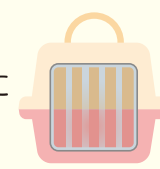
犬の場合

- * リードをつけ、首輪が緩んでないかを確認
- * 小型犬はリードを付けた上で、キャリーバッグやケージに入れる



猫の場合

- * キャリーバッグやケージに入れる
- * キャリーバッグ等の扉が開かないようにガムテープなどで固定する



避難所における飼養管理

- 避難所の飼育ルールに基づき、**飼い主自身が飼育管理**を行きましょう。
- **咬傷事故**や飛びつきなどにより怪我人が出ないように注意しましょう。

